

南アジア地域における地震防災対策計画（E R R P）の Regional Workshop in Islamabad, Pakistan
出張報告 2009/5/11

2009/4/28-29 ; E R R P の第 2 回 W S がパキスタンのイスラマバードにある Margallah Hotel で開催された。

開催にあたり来賓の在パキスタン日本国大使館の水谷公使及び U N D P - Pakistan, SAARC-India, Pakistan-NDMA 代表から挨拶があった。

特に水谷公使からは、「現状の緊迫した状況の中にもかかわらず、今回のパキスタンでの W S に日本の技術専門家が参加してくれたことに謝意を表す」とのお言葉があった。

その後、E R R P の対象国（パキスタン、ネパール、ブータン、バングラデシュ、インド）のプロジェクト進捗報告が行われた。「Learning/Knowledge Session」に移り、パキスタン、ネパール、ブータンそして日本からの専門家がプレゼンテーションを行った。

日本からの専門家及びプレゼンテーションのタイトルは以下のとおりである。

- ・ 今井 弘（建築研究所研究員）「Safe construction design and Retrofitting techniques」
「Common Topics of Proposed Experiment for Pull down test」
- ・ 石山 祐二（北海道大学名誉教授）「Earthquake Damage and Importance of Seismic Codes」
「Common Topics of T.A. Proposal for Pakistan」
- ・ 楯府 龍雄（建築研究所国際協力審議役）「Dissemination of Technical Information and Enforcement of Building Code in Indonesia」
「Overview for Earthquake Risk Reduction Approach」
- ・ 大堀 正人（アジア防災センター主任研究員）「Importance of Quality Management for Construction」

4/30; E R R P の対象国（パキスタン、ネパール、ブータン、バングラデシュ）と U N D P, A D R C が一堂に会し、A D R C を通じた技術支援の内容について意見交換を行った。

5/1-2 ; 2005 年のパキスタン Muzaffarabad 地震の被災地を視察し、復興状況や耐震補強の方法について現地復興担当者と意見交換を行った。

